

# 混陽

## 第三十七回 混陽書道展 開催に向けて作品制作・準備進む

四月二十九日の実行委員会から、作品展に向けての準備、作品制作が本格的にスタートしました第三十七回混陽書道展。

臨書添削会、錬成会（成人）、中高生錬成会を経て、八月二十八日の成人部作品提出・選別会、九月十一日の生徒部作品提出をもつてすべての作品が出揃いました。

九月二十二日に実行委員会・生徒部の作品貼付け・九月二十五日の和綴じ講座、そして、九月二十六日に会場設営準備を行い、いよいよ書道展が始まります。

**第三十七回（平成二十八年年度）混陽書道展**  
《会 期》九月二十七日（火）～十月二日（日）  
九時三十分～十七時（最終日は十六時まで）  
《入賞者の授賞式》十月一日（土）  
《場 所》滋賀県立近代美術館 ギャラリー  
大津市瀬田南大萱町一七四〇一  
(Tel.077-543-2111)  
■JR瀬田駅からバス「滋賀医大」行き  
「文化ゾーン前」下車徒歩五分

**第 5 1 号**

平成 28 年 9 月 27 日  
書道研究 混陽会

〒524-0037  
滋賀県守山市梅田町 1-7  
(守山駅西口から  
北へ約 100m)  
URL:<http://www.kouyouka-i-sho.com/>

発行人：中川 翠玲



### ～書道展開催までの活動風景～



◆臨書添削会◆  
混陽会員の臨書課題の添削会を六月二十五日、七月一六日、八月六日の三回開催し、延べ三十二名が参加しました。



添削の様子 ↑

作品制作風景 ↓



◆錬成会（成人）◆  
八月二十一日（日）守山商工会議所 大ホールにて第三十七回混陽展に向けての錬成会が参加者三十名で開催されました。  
中川翠玲先生より各人に熱く丁寧な御指導をいただき、互いの作品に刺激を受け、それぞれ創作作品の仕上げに励みました。

◆ 中高生錬成会 ◆

滉陽書道展の出品にむけ、毎年ほぼ夏休み期間中に守山・八幡の教室で開催しています。一日中書き込み作品を作り上げることは、これから先必ず貴重な経験になると思われます。来年も開催致しますので、たくさん生徒さんに参加していただけるよう、講師も一生懸命努めます。



全 6 回開催の錬成会に、  
延べ 49 名が参加しました。

◆ 成人・高校生作品 提出・選別 ◆

八月二十八日に実行委員が集まり守山市コミュニティホールにて第三十七回滉陽書道展の成人作品最終選別を行いました。

中川先生、福嶋先生、安居理事、属先生を中心に教室会  
員作品から実行委員の創作作品、一字書まで一日がかり  
で力作を添削・選別して頂きました。

作品の持ち手はどんな紙を使っているのか、また作品  
を裏から見て勉強したり、自分もこんな作品を書いてみ  
たい、来年はこれにチャレンジしよう等、とても勉強に  
なる選別会となりました。

今年の滉陽展が成功する様あと一カ月の準備期間を全  
員で頑張ることを確認し合いました。



◆ 第三十七回 滉陽書道展「授賞」について

- 一 滋賀県知事賞
  - 二 滋賀県教育委員会教育長賞
  - 三 滋賀県芸術文化祭奨励賞
- これらは滉陽会員作品および生徒部作品の中  
から最も優れた作品に授与いたします。

- 四 大津市長賞
  - 五 大津市教育委員会教育長賞
  - 六 守山市長賞
  - 七 守山市教育委員会教育長賞
  - 八 近江八幡市長賞
  - 九 近江八幡市教育長賞
- これらは滉陽会員作品および生徒部作品の中  
から優れた作品に授与いたします。
- 十 日本習字教育財団理事長賞
  - 教室会員の成人部および生徒部作品の中から  
観峰流書風の優れた作品に授与いたします。
  - 十一 読売新聞大津支局長賞
  - 十二 BBCびわ湖放送賞
  - 十三 呉竹賞
  - 十四 墨運堂賞
- これらは教室会員の成人部および生徒部作品の  
中から優れた作品に授与いたします。
- 十五 奨励賞
  - 教室会員の成人部および生徒部作品の中から  
優秀で将来性の高い作品に授与いたします。
  - 十六 優秀賞および努力賞
  - 生徒部作品の中から優秀な作品、短期間に著し  
く上達された作品、継続して努力された作品に  
授与いたします。

● 鶴の説明・鶴の付いている作品は、生涯学習が  
叫ばれている昨今、八十歳を越えてもなお日々精  
進されている方の作品です。



◆生徒部作品展示までのながれ

- ① 各教室にて生徒と作品について書く内容を決める。
- ② 硬筆部は硬筆作品と、毛筆にふれる機会として筆で色紙作品を創り、色画用紙に貼付。小学生毛筆部は各学年に応じた作品を仕上げる。中学生は半切作品に揮毫する。守山教室と八幡教室にて、中高生練成会が各三回ずつ開催され練成の場とする。
- ③ 九月十一日各教室から作品を提出し、優秀作品を審査する。
- ④ 業者にしわ伸ばしに出し、九月二十二日、台紙に貼り付け作業をする。
- ⑤ 九月二十六日作品展準備日に展示し、優秀作品にリボンをつける。



生徒部作品  
審査の様子



受賞者報告

【玄心展】

兵庫県教育委員会賞  
書人賞  
伊部芳翠

【玄心公募展】

・秀作六名  
藤田瑞有、新谷真穂、橋本翠遊  
井上恵華、瀬口幸代、山田馨泉  
・入選  
久木野恵子

【読売書法展】

・秀逸五名  
安居暢翰、伊部芳翠、中間翠洸  
宮崎恵舟、河野翠風  
・入選十三名  
井狩遊雪、木村香雪、引間京華、玉木桂華  
改發蒼風、日下部雅苑、木村静宵、  
山本翠舟、土田純香、川田幸洲  
山川桐葉、森永圭霞、小濱翠鳳

【生徒部八段位合格者】(三月実施)

平尾かな 能登川教室 中三 毛筆

おめでとうございます!!

耳寄り情報☆

よい墨の磨(す)り方とは？

(墨のひみつQ&A 奈良製墨組合HP)

硯(すずり)の表面には「鋒錠」(ほうぼう)といって、微細なヤスリ状の凹凸があります。墨はこの鋒錠によって磨(す)りおろされていきます。

力を込めて磨りますと墨の粒子が荒くなり、墨のもつ本来の墨の色が出ません。硯の面に水を数滴たらし、力をいれずにゆっくりと磨り上げ、濃くなれば海におろし、再び水をたらし、ゆっくりと磨ってゆくの理想です。

そして最後に使う濃さに水で薄すめて下さい。こうしますと、墨本来の生き生きとした墨の液が得られ、美しい墨の色が求められます。またこの方がはやく濃くなるのです。

奈良製墨組合のホームページ  
墨のひみつQ&Aより

<http://www.sumi-nara.or.jp/index4.html>



◆ 定期講座 ◆

◆ 古筆講座

守山駅前教室 木村香雪

古筆講座では、元永本古今和歌集と高野切第一種の臨書に励んでいます。どちらも仮名書道の代表的古筆の一つで、余白の美しい字の流れや華麗な料紙は見事なものです。綺麗な紙に仮名を書いてみたいと思ひ、書道を始めた私にとっては有意義なひと時です。

毎回の課題としては、字形、空間、リズム等を原本そのまま忠実に臨書をする形臨を学んでいます。属先生の丁寧なご指導のお陰で、徐々に繊細な線の動きが分かるようになってきましたが、表現するまでには至りません。自分の未熟さを痛感するばかりです。

今後は講座作品発表会に向け、納得のいく作品が仕上がるよう頑張ります。

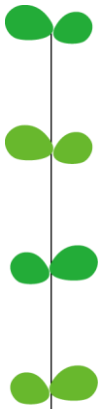


◆ 調和体講座

八幡教室 田附湖蝶

岡田祖翠先生ご指導のもと、年六回の限られた回数の中ではありますが、いろいろなサイズの作品にチャレンジしています。色々な先生に指導いただくことで、書道の世界の奥深さを感じています。

現在は色々な作品の勉強をしながら年度末の講座作品展に向けての作品を模索しながら勉強しております。岡田先生のおっしゃる、紙面に負けぬように一字一字力強く書き込むことを心がけています。筆の選び方使い方など、いろいろな面で新しいことを発見しています。力強い線はなかなか自分のものにはなりませんがこの作品が自分のものになるのがとても楽しみです。今後ともご指導をよろしくお願い致します。



定期講座インタビュー ☺  
調和体講座講師 岡田祖翠先生

岡田祖翠先生 略歴  
昭和十一年大阪に生まれる  
西村桂洲先生に師事  
昭和三十八年日展初入選  
現在 日展 会友、日本書芸院 参与、  
読売書法展 理事、全関西展 招待、  
滋賀書作家協会 理事長、  
玄武書道会 会長：

直接師事を仰ぐには錚々たるご経歴過ぎて、当初は皆とても緊張していたのですが、若くして日展入選後、二十三、四年間も入選から遠ざかっておられたお話や、洋画、日本画、陶芸、自然の景色など、書以外のものを見て、美眼を養うことが大切、感性を磨くことで、自分の感性で字が書けるようになる。というお話などを聞かせて頂き、少しずつ先生のお考えを浸透させながら作品作りが出来るようになってきています。







◆ 古典講座 守山駅前教室 木村静宵

七月十七日、初めての古典講座に緊張しながら参加しました。まずは、池田先生のお手本を元に、筆の持ち方から始まり、始筆・筆の運び方・腕の力の入れる所等、一本の線をただちちんと書くのではなく、一本の線に変化をつけながら書いていく。だけど、変化をつけすぎても「やりすぎ」になってしまう。いろいろな事を考えながら書いていると、ついつい力んだ字になってしまう。そこで、先生に筆を持ってもらい、先生の筆の運びに任せて書くと、余計な力が入る事なくスーと書いていくのには、びっくりしました。

講座中、緊張でのどが渇いてきたのですが、当番の方が美味しいお茶とお菓子を出してくださり、ほっと一息つく事ができました。

これからは、いかに自分らしい、生きた線を書く事が臨書の楽しみにつながっていくのだろうと感じました。有意義な時間を過ごすことができ、ありがとうございました。

定期講座インタビュー④  
まほろば講座講師 井狩遊雪先生

書歴

遅咲きの二十五歳

書道をはじめたきっかけ

年賀状が上手くかけたらなあと思って  
(「こんなにどっぷりはまるとは、人生はおもしろい」)

書道を通じて嬉しかった事・苦しかった事

生徒や仲間、いろんな人との出会い。  
また死ぬまで続けると生涯学習に  
下さる方が居られること。  
子育て中は、あまり書く時間がとれなく、  
もどかしい思いもしたけれど、  
そんな時でも細々と続けさせて  
いただいて良かったと思います。

趣味

洋裁、ハイキング

人生の転機になった事

中川先生との出会いと御配慮。  
第一子を出産したら当然辞めると  
思っていました。  
今や三人の母です。

教室紹介

【若草書道教室】  
講師・山本華泉



若草書道教室は、昭和六十三年三月に翠玲書道教室として中川先生が開講されました。今年で丸二十八年になります。

新興住宅地で総称『飛鳥グリーンヒル』と呼んでました。書道教室が他に無かったので、最初は十人程でしたが、何度もチラシをまき徐々に増えていきました。最高に多い時で一五〇人以上在籍してました。

以前は生徒さんもゆっくりとしましたから、座る机が無い時は後ろで順番に座って待っていました。今は生徒さんも忙しく、いくつもおけいこがあったり塾があったりで時間を気にしながらになります。

同じグリーンヒルの中でも、住所が草津市と大津市に分かれていて、小学校もそれぞれ一つづつ有ります。今では書道教室も増えて、私の知る限りでは七教室もあり激戦区となっております。

長年やって来た実績もあり、新入会の方は今来てる生徒さんの紹介が殆どです。

中学生になると部活と塾でやめてしまいましたが、八段をめざしてる生徒さんは残ってくれます。

段々と体力・気力・集中力もなくなってきましたが、生徒さんと接していると楽しいですし、昇級・昇段して下さると自分の事以上にうれしくなります。

いつまで出来るか分かりませんが、老体に鞭打って頑張っていきたいと思えます。

◆ 教養講座 ◆

◆ 教養講座④

六月二十六日に守山駅前教室にて第四回の教養講座である「短冊作品講座」が開催されました。今回は初めて混陽会の会員の方だけではなく、一般の方も参加されました。

講師の下村荘香先生から三種類のお手本を頂き、かなの古典や細字を短冊に書くポイントを教えてくださいました。参加された方々は、お手本にできるだけ近づけるよう練習をされ、講座の最後には皆さんが短冊作品を仕上げる事が出来ました。

普段はなかなかチャレンジできない短冊の作品ですが、教養講座をきっかけに参加された方々が、今後は身近な作品として短冊を書かれることと思います。



◆ 編集後記 ◆

第三十七回混陽書道展が始まります。

暑い中、オリンピックと高校野球に元気をもらいながら作品展に向けて制作していた頃が懐かしいです。(MK)

◆ 教養講座⑤

七月三日に第五回教養講座が開かれました。

今回は、久田萌玉先生に裏打ちの方法をご指導頂きました。裏打ちをするのが初めての方や、以前に講座を受けておられても、もう一度再確認で受講された方もおられました。

裏打ちするものを各自で持参されましたので、五月の墨彩画の講座で書かれた作品を裏打ちされる方や、かなの作品や混陽展の臨書の表紙を裏打ちされる方もいらっしゃいました。

比較的少人数でしたので久田先生に個別にご指導して頂き、みなさんスムーズに裏打ちを完成されました。まる一日は乾燥させなければならぬため、作品を板に貼り付けたまま持ち帰られましたが、久田先生から万一失敗した時の対処方法まで教えて頂き、安心して講座を終えられました。



今後の予定

9/ 27~10/2(火~日)混陽展		
10/ 1	(土)	混陽展 授賞式
10/ 8	(土)	まほろば講座
10/ 9	(日)	調和体講座
10/ 16	(日)	古筆講座
10/ 23	(日)	教養講座⑥(中国書道史:前半)
10/ 30	(日)	教養講座⑦(篆書の基本と篆書の般若心経)
11/ 5	(土)	まほろば講座
11/ 6	(日)	教養講座⑧(色紙作品)
11/ 20	(日)	古典講座
11/ 27	(日)	教養講座⑨(条幅の創作)
12/ 4	(日)	教養講座⑩(中国書道史:後半)
12/ 9~11(金~日)飛燕展		
12/ 11	(日)	調和体講座
12/ 17	(土)	まほろば講座
12/ 18	(日)	古筆講座

◆ 十王教室の皆さまの作品展のご案内 ◆

滋賀銀行江頭支店ロビーにて  
展示期間 十一月一日から三〇日まで  
時間帯 九時~十五時